

# 前期学校評価アンケート

生徒アンケート（7月末実施）  
 保護者アンケート（7月末～8月中旬実施）  
 教員アンケート（8月上旬実施）

一覧表

肯定的回答(当てはまる・だいたい当てはまる)の割合 (%)

項目	生徒	保護者	教員
A 支え合う仲間・集団づくりの推進			
① いじめを許さない指導	94.3	72.6	94.8
② 学校が楽しい	93.1	89.8	94.7
③ 生徒会活動や学校行事への取り組み	83.5	87.9	84.2
④ 部活動への取り組み	90.9	88.6	94.7
B 規律ある学校づくり			
⑤ 生徒の間違った行動に対しての適切な指導	95.8	80.3	100.0
⑥ 挨拶	92.7	86.6	52.6
⑦ 正しい言葉遣い	88.2	88.5	73.7
C 分かる楽しい授業の実践			
⑧ 授業は、分かりやすい	95.8	72.0	100.0
⑨ 分かるまで勉強を教えてくれる。	93.1	64.3	94.8
⑩ 毎日の家庭学習の習慣が身に付いている。	78.5	73.9	84.2
D 生徒一人一人の良さの伸長			
⑪ 学校生活で活躍の場がある	89.3	83.5	100.0
⑫ 友達や先生は、自分の頑張りを認めてくれている	95.0	83.5	100.0
⑬ 将来の進路や職業などについて考え生活している	67.8	59.2	100.0
E 家庭・地域との連携の強化			
⑭ 相談しやすい体制づくり	—	75.8	89.5
⑮ 校報・通信・ホームページ等での情報公開	—	73.8	84.2
⑯ P T A活動や地域の行事への参加	—	71.4	84.3

※ ホームページ (<https://honai-j.esnet.ed.jp/>)

※ 肯定的回答(当てはまる・だいたい当てはまる)が9割以上…黄色のマーカー

※ 否定的回答(あまり当てはまらない・当てはまらない)が2割以上…水色のマーカー

# 生徒アンケート 分析

1 実施時期 1学期末

2 実施人数 261名(1年生82名 2年生76名 3年生103名)

3 分析方法

肯定的回答(当てはまる・だいたい当てはまる)が9割以上：○

否定的回答(あまり当てはまらない・当てはまらない)が2割以上：×

## 1 支え合う仲間・集団づくりの推進

	観	点	評価
①	学校は、いじめを許さない指導を行っている。		○
②	私は、学校が楽しいと感じている。		○
③	私は、生徒会活動や学校行事に自主的・意欲的に取り組んでいる。		—
④	私は、部活動に意欲的に取り組んでいる。		○

## 2 規律ある学校づくり

	観	点	評価
⑤	先生は、生徒の間違った行動に対して適切な指導をしている。		○
⑥	私は、学校や地域で進んで挨拶をしている。		○
⑦	私は、正しい言葉遣いで会話ができている。		—

## 3 分かる楽しい授業の実践

	観	点	評価
⑧	学校の授業は、分かりやすいと思う。		○
⑨	学校の先生は、分かるまで勉強を教えてくれる。		○
⑩	私には、毎日の家庭学習の習慣が身に付いている。		×

## 4 生徒一人一人の良さの伸長

	観	点	評価
⑪	学校生活の何らかの場面で、自分に活躍の場が与えられている。		—
⑫	友達や先生は、自分の頑張りを認めてくれていると思う。		○
⑬	私は、将来の進路や職業などについて考え生活している。		×

# 保護者アンケート 分析

- 1 実施時期 7月下旬～8月中旬
- 2 実施人数 157名(1年生42名 2年生50名 3年生65名)
- 3 分析方法

肯定的回答(当てはまる・だいたい当てはまる)が9割以上：○

否定的回答(あまり当てはまらない・当てはまらない)が2割以上：×

## 1 支え合う仲間・集団づくりの推進

	観 点	評 価
①	学校は、いじめを許さない体制づくりに努めている。	×
②	お子さんは、学校が楽しいと感じている。	—
③	お子さんは、生徒会活動や学校行事に自主的・意欲的に取り組んでいる。	—
④	お子さんは、部活動に意欲的に取り組んでいる。	—

## 2 規律ある学校づくり

	観 点	評 価
⑤	先生は、生徒の間違った行動に対して適切な指導をしている。	—
⑥	お子さんは、学校や地域で進んで挨拶をしている。	—
⑦	お子さんは、正しい言葉遣いで会話ができています。	—

## 3 分かる楽しい授業の実践

	観 点	評 価
⑧	お子さんは、授業は分かりやすいと感じている。	×
⑨	お子さんは、学校の先生が、分かるまで勉強を教えてくれると感じている。	×
⑩	お子さんには、毎日の家庭学習の習慣が身に付いている。	×

## 4 生徒一人一人の良さの伸長

	観 点	評 価
⑪	お子さんには、学校生活の何らかの場面で、活躍の場が与えられている。	—
⑫	お子さんは、友達や先生が自分の頑張りを認めてくれていると感じている。	—
⑬	お子さんは、将来の進路や職業などについて考え生活している。	×

## 5 家庭・地域との連携の強化

	観 点	評 価
⑭	学校は、保護者や地域の方が来校したり、相談したりしやすい体制をつくっている。	×
⑮	学校は、教育活動に関する情報を、校報・通信・ホームページ等で積極的に家庭・地域に知らせている。	×
⑯	保護者として、PTAの活動や地域の行事によく参加している。	×

# 教員アンケート 分析

1 実施時期 8月中旬

2 実施人数 19名

3 分析方法

肯定的回答(当てはまる・だいたい当てはまる)が9割以上：○

否定的回答(あまり当てはまらない・当てはまらない)が2割以上：×

## 1 支え合う仲間・集団づくりの推進

	観 点	評 価
①	いじめを許さない体制づくりに努め、いじめへの対が組織的にできている。	○
②	学校生活が楽しいと思えるような教育活動を工夫・実践している。	○
③	生徒会活動が、生徒の自主的な活動となるよう、支援している。	—
④	生徒の意欲が高まる部活動運営を実践している。	○

## 2 規律ある学校づくり

	観 点	評 価
⑤	生徒の間違った行動に対し、毅然とした態度で指導している。	○
⑥	生徒は、学校や地域で進んで挨拶をしている。	×
⑦	生徒は、正しい言葉遣いで会話ができている。	×

## 3 分かる楽しい授業の実践

	観 点	評 価
⑧	分かりやすい授業が実践できるよう、教材や指導方法を工夫・研究している。	○
⑨	一人一人の学力向上に向け、個に応じた指導を心掛けている。	○
⑩	家庭学習の習慣化を図るとともに、効果的な家庭学習の方法について研修している。	—

## 4 生徒一人一人の良さの伸長

	観 点	評 価
⑪	一人一人の生徒に、活躍の場を与えるよう努めている。	○
⑫	生徒一人一人の頑張りを認め、賞賛するよう心掛けている。	○
⑬	それぞれの学年に応じた系統的な進路指導を実践している。	○

## 5 家庭・地域との連携の強化

	観 点	評 価
⑭	保護者や地域の方が来校したり、相談したりしやすい体制をつくっている。	—
⑮	教育活動に関する情報を、校報・通信・ホームページ等で積極的に家庭・地域に知らせている。	—
⑯	保護者や地域が来校したり、相談したりしやすい体制をつくっている。	—

## <アンケート結果の分析>

### 1 支え合う仲間・集団づくりの推進について

- ・ 肯定割合が概ね高いが、一定数学校生活に不満を持っている生徒がいるのも事実である。生徒一人一人への丁寧な対応を心掛け、肯定の割合を少しでも高めていきたい。
- ・ 生徒と教員の肯定割合はほぼ同程度であるが、保護者の回答とはずれが生じている。特に「いじめを許さない指導」については数値が大きく異なっており、集団の中でのお子さんの様子を保護者が心配されていることが伺える。
- ・ 部活動については、教員側は最大限努力していると感じているが、それが生徒や保護者に十分に伝わっていない場面があると考えられる。

### 2 規律ある学校づくりについて

- ・ 生徒の間違った行動に対しての適切な指導については、教員側の努力や配慮が家庭には十分に伝わっていないか、教員側の努力がさらに求められていることが考えられる。
- ・ 挨拶については、教員と生徒や保護者との間で肯定割合が大きく異なっている。気持ちのよい挨拶のとらえ方に違いがあることが伺える。

### 3 分かる楽しい授業の実践について

- ・ 教員は、分かりやすい授業が展開できるように努めようとしているが、特に保護者には、それが実感できていない状況である。
- ・ 分かるまで勉強を教えてもらえると感じている生徒の割合は、教員の回答とほぼ同じであるが、保護者の回答とは大きな開きがある。生徒は、忙しい毎日の中で、できる限りの指導を教員が行っていることを感じ取っているが、保護者は成績や生徒が家庭で話をする内容から十分ではないと感じていると考えられる。

### 4 生徒一人一人の良さの伸長について

- ・ 3つの項目とも、教員側としては限られた時間の中でできる限りのことをしようと努めているが、それが生徒や保護者には十分感じ取れていないと考えられる。その傾向は、「進路や職業などについて考え生活すること」において、特に顕著である。
- ・ 生徒の頑張りを認めようとする教員の姿勢を、大部分の生徒が感じ取っていることは、教員にとってとても励みになる。

### 5 家庭・地域との連携の強化について

- ・ 肯定割合に10%程度の違いはあるが、保護者も教員も家庭・地域との連携につ

いては改善の余地があると感じているようである。

- ・ 保護者は、PTA や地域の活動への積極的な参加について肯定的な意見が 71.4 %であったが、教員の 84.3%は、協力的であると捉えている。

## <後期に向けての目標設定とそのための改善策>

### 1 支え合う仲間・集団づくりの推進について

(目標) 「いじめを許さない指導」の保護者肯定割合 **80%以上**

(具体的な改善策) ①日常の生徒の観察・支援をさらに強化し、全教職員で行う。

②教育相談の充実を図り、生徒の不安解消に努める。

③保護者への報連相を徹底するとともに、校報・通信・ホームページ等で情報提供に努める。

### 2 規律ある学校づくりについて

(目標) (1) 教員の挨拶に対する肯定割合 **70.0%以上**

(具体的な改善策) ①教員が、生徒がどのような挨拶ができるようになるとよいか共通理解を図る。→ 共通理解を図ったことについて教員が見本となる挨拶を行う。

②よい挨拶を認め褒める指導を徹底する。

③生徒が自分たちの挨拶を振り返る場面を設ける。

(目標) (2) 保護者の「生徒の間違った行動に対しての適切な指導」に対する肯定割合 **85.0%以上**

(具体的な改善策) 保護者への報連相を徹底するとともに、校報・通信・ホームページ等で情報提供に努める。

### 3 分かる楽しい授業の実践について

(目標) まず、学校や教員の取組や授業の様子を知っていただく。

(具体的な改善策) ①ホームページで授業の情報も提供する。**週5回のホームページ更新の内、授業の様子を1回以上掲載する。(※10月から)**

②教員は、これまで同様、日々授業の充実を図るため研修に努める。

### 4 生徒一人一人の良さの伸長

(目標) 生徒、保護者の「将来の進路や職業などについて考え生活している」の肯定割合を生徒・保護者共に **80%以上 (生徒と保護者の平均値)**

(具体的な改善策) ①各学団でキャリア教育の充実について検討し、自分の将来の在り方について明るく前向きに考えることができる生徒を

育てる。

②校報・通信・ホームページ等でキャリア教育の情報提供を充実させる。

月に1回はホームページでキャリア教育に関する情報を提供する。

## 5 家庭・地域との連携の強化

(目標) 授業日は毎日ホームページを更新する。

行事予定を毎月20日までにホームページに掲載する。

(具体的な改善策) ①保護者のすべての不安は、学校からの情報提供の改善で緩和されると感じている。評議員会等で意見を伺いながらよりよい情報発信を行い、家庭や地域との連携を強化していきたい。

### <後期に目標達成状況を検証するための評価基準>

評価項目	A (目標達成)	B (維持)	C (見直し必要)
①「いじめを許さない指導」の保護者肯定割合	80%以上	A と C の間	69%以下
②教員の挨拶に対する肯定割合	70%以上	A と C の間	54%以下
③1週間の内、授業の様子をホームページに掲載した回数 (平均値)	1以上	A と C の間	0.5以下
④生徒、保護者の「将来の進路や職業などについて考え生活している」の肯定割合 (生徒・保護者の平均値)	80%以上	A と C の間	63%以下
⑤授業日のホームページ更新割合 (ホームページ更新回数÷授業日×100)	95%以上	A と C の間	70%以下